福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	NEXTふくちやま産業創造事業							事業コード	070102320202		
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち					政策目標	1 地域経済を支える産業の振興			
	施 策 名	3 新産業の育成と起業支援の充実							施策コード	813	
事業担当	所属	250500 産業部産業課					所属長	大江 秀也			
会計情報	款	07商工費	項	01商工費	目	02商工業振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	162	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	—										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	福知山市産業支援事業、起業おうえん事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 〇日本の開業率は欧米諸国と比較すると低い水準で推移している。開業率が低い状態は産業全体の新陳代謝が活発ではない状態であり、地域経済の活性化に好ましくない。 〇この状況を打開するため、日本政府は2022年をスタートアップ創出元年に位置づけ、「スタートアップ育成5か年計画」を策定した。 〇利益の追求だけでなく、地域ならではの社会課題の解決をめざす起業家を輩出し、新たな産業を創出するためNEXTふくちやま産業創造事業を実施する。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 〇福知山市内の起業、副業、リカレント教育、パラレルキャリアへの関心を高める。 〇起業前後に挫折することが多いため、前後の支援を整える。 〇自身の事業を発表する機会やブラッシュアップする場を提供する。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） コロナ禍による社会価値の変化を踏まえ、ニーズの変化に対応した新たな価値創造が必要となる中、この担い手となる新たな企業等の創出に取り組む。その過程で、地域内外の人や企業が繋がる「地域間ネットワーク」の構築と先進的企業の誕生、連携、集積という循環を地域主体が自律的に回す「地域エコシステム」を生み出し、先進的な企業をはじめとする多様な産業を福知山に集積させ、雇用の創出や雇用水準を高め、定住人口や交流人口、UIJターン人口の増加をめざす。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 〇機運醸成イベント「NEXT産業創造塾」開催：地域の「起業に挑戦する」風土を構築するため、先進地の講師を招聘し、先進事例に触れる機会を創出する。また、広く起業への機運醸成を図るとともに、地域間のネットワーク構築に繋げる。 〇起業家人材等育成プログラム「NEXT産業創造プログラム」「F-StartUpプログラム」開催（委託）：起業や企業内起業等をめざす人を対象に、起業に必要とされる高度な知識やスキルを修得できるよう本プログラムを実施し、社会人の学び直しを推進する。本プログラムを通じて先進的な企業や起業家との交流を生み出すことで、新たな産業の創出に繋げる。

対象者	事業者・創業をめざす者	対象者数	23	単位あたりコスト 753.3
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）			
委託先・実施主体等	福知山公立大学			

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	867	NEXT産業創造塾及びNEXT産業創造プログラム講師謝金			
旅費	348	職員出張旅費 （NEXT産業創造プログラムPBL事業、SHIBUYA QWSに係る出張）			
需用費	33	ZOOMライセンス料			
委託料	9,291	NEXT産業創造プログラム及びF-StartUp運営業務委託費			
使用料及び賃借料	5	高速料金（京都府産業振興課との協議）			
負担金補助及び交付金	1,100	SHIBUYA QWS年会費			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	13,690	12,361	5,963	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		13,690	12,361	5,963	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	6,777	6,001	2,891	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	6,913	6,360	3,072	
決算情報	① 流充用額	△ 2	0		
	② 配当予算	13,688	12,361		
	③ 執行額	13,041	11,643		
	④ 執行率	95.3%	94.2%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.75 / 0.05	0.70 / 0.03	/	/
	② 概算人件費	6,140	5,684		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		19,181	17,327		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	NEXTふくちやま産業創造事業（新しい地方経済・生活環境創生交付金）	商工費国庫補助金	5,155	17	
	NEXTふくちやま産業創造事業基金繰入（ふるさと納税基金）	基金繰入金	5,415	39	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	19	29	15	15		
	NEXT産業創造プログラム内における起業数/企業内起業数/事業連携数	目標値		4	6	10	15	20	
		達成度	%	475%	483%	150%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	21	20	26	23		
	NEXT産業創造プログラム及びF-StartUp　受講者数 ※F-StartUpは令和6年度から実施（年間目標受講者数2人）	当初見込		15	15	17	17	17	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	NEXT産業創造プログラムを充実した内容で運営する。 NEXT産業創造プログラム等の積極的な広報を実施する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・新たな産業や企業の誕生、集積という目的を達成するためには、NEXT産業創造プログラムだけでなく、産学官金連携を強化し、本地域における課題などを広く共有していくことが必要不可欠である。 ・NEXT産業創造プログラム修了生にアンケートを行った結果、土日に集中的に講義を行うのは日程が厳しいと意見をいただいた。 ・NEXT産業創造プログラムへの社会人（福知山市民）の参加者数が減っている。
現状の課題に対する改善策	・福知山公立大学だけでなく、地域金融機関とも連携し、本プログラムに参画していただくことで、産学官金による連携体制の強化を図っている。 ・NEXT産業創造プログラムを社会人をはじめ幅広い方々に受講いただきやすいように、基礎科目をオンライン・オンデマンド型で実施する。 ・都市部に在住する社会人へ本プログラムへ参加を呼びかけ、福知山市内における起業や企業内起業、事業継承につながるよう取り組む。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	起業おうえん事業						事業コード	070102320203		
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	1 地域経済を支える産業の振興				
	施 策 名	3 新産業の育成と起業支援の充実					施策コード	813		
事業担当	所属	250500 産業部産業課			所属長	大江 秀也				
会計情報	款	07商工費	項	01商工費	目	02商工業振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	162 頁
計画期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市創業支援等支援事業計画			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	福知山市創業支援等事業計画									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	NEXTふくちやま産業創造事業、福知山市産業支援事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 本市の産業振興を図るためには、既存の事業者を支援する取組と合わせて、新たに事業を起こそうとする者を支援する取組が必要となる。 このため、本市は市内の創業支援機関（商工団体、金融機関等）と連携し、国から認定を受けた福知山市創業支援等事業計画に基づき、起業支援に取り組んでいる。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 〇起業に挑戦する人材の育成 〇起業に挑戦する機運の醸成					
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 市内で新たに事業を営む者に対し助成・補助制度を実施することで、創業時の経費負担を軽減するとともに、創業時のノウハウ取得のためのセミナー等の開催により創業しやすい環境を整え、起業及び雇用を促進することで産業の活性化を図る。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 1 創業セミナー 専門家による創業セミナー（入門編、実践編）を実施 2 福知山市起業おうえん助成金 創業関連融資利用者に対し、約6か月分の利子相当額を全額補助する（上限90千円） 3 福知山市起業家支援事業補助金（補助率：ソフト事業1/2 上限200千円、ハード事業1/4 上限500千円） 市内で新たに起業する者、起業して1年未満の者に対し、起業に係る経費の一部を補助					
対象者	市内での起業予定者及び起業後１年未満の者		対象者数	48	単位あたりコスト	148.5
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☑ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	福知山商工会議所、福知山商工会（創業セミナーのみ）					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
役務費	178	創業セミナーに係る広報（ラサンカ、新聞折込）			
委託料	385	創業セミナーに係る委託費（商工会議所）			
負担金補助及び交付金	3,685	起業家支援事業補助金、起業おうえん助成金			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		7,752	4,666	5,322	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			7,752	4,666	5,322	
予算財源内訳	① 一般財源		0	0	0	
	② 国支出金		3,876	2,333	2,661	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		3,876	2,333	2,661	
決算情報	① 流充用額		0	0		
	② 配当予算		7,752	4,666		
	③ 執行額		5,108	4,248		
	④ 執行率		65.9%	91.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.25 / 0.00	0.36 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		2,000	2,880		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			7,108	7,128		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	起業おうえん事業（新しい地方経済・生活環境創生交付金）	商工費国庫補助金	2,122	17	
	起業おうえん事業基金繰入（ふるさと就職応援基金）	基金繰入金	2,123	36	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	65	48	48	32		
	市内での創業者数	目標値		32	32	32	32	32	
		達成度	%	203%	150%	150%	100%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	48	25	26	24		
	創業セミナー参加者数	当初見込		15	15	15	15	15	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	起業に興味関心を持つ市内の社会人等に対し、創業時のノウハウを学ぶためのセミナーを開催する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	創業セミナー等を通じて起業に関心を持つ層は増えつつあったが、令和7年度は創業者数、セミナー参加数ともに減少傾向にあった。 福知山商工会議所が実施したアンケート（R6．2）によると後継者が決まっている企業は約3割にとどまり、約7割が未定または不在となっているが、事業承継に関する取組はほとんど行えていない。
現状の課題に対する改善策	創業支援機関の事業承継に対する意識の醸成を図るため、福知山市創業支援事業ネットワーク会議を中心に創業支援機関内での事業承継に関する情報を共有する場を設け、相互にサポートできる支援を構築する。